

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭58—94929

⑪ Int. Cl.³
F 16 F 9/34

識別記号

庁内整理番号
7369—3J

⑬ 公開 昭和58年(1983)6月28日

審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑭ 油圧緩衝器

横浜市瀬谷区阿久和町4309

⑮ 実 願 昭56—189560

⑯ 出 願 人 トキコ株式会社

⑰ 出 願 昭56(1981)12月18日

川崎市川崎区富士見1丁目6番
3号

⑱ 考 案 者 三浦家昭

⑲ 代 理 人 弁理士 宮田広豊 外1名

⑳ 実用新案登録請求の範囲

ピストンロッドの一端側に固定されており、シリンダ内の油室を二室に画成していると共に二つの油室を連通する孔が設けられたピストンと、

ピストンの各側において連通孔に対面して設けられた減衰力発生用ディスクバルブとを有しており、

ピストンロッドの一端部側に位置しており、通常は伸び側の減衰力を与える減衰力発生用ディスクバルブが少なくとも三枚のディスクからなり、

三枚のディスクのうち最もピストンに近接して位置している第一のディスクが対応する連通孔の開口部側に屈曲可能であり、三枚のディスクのうち中間に位置している第二のディスクがその外周縁に切り欠き部を有しており、

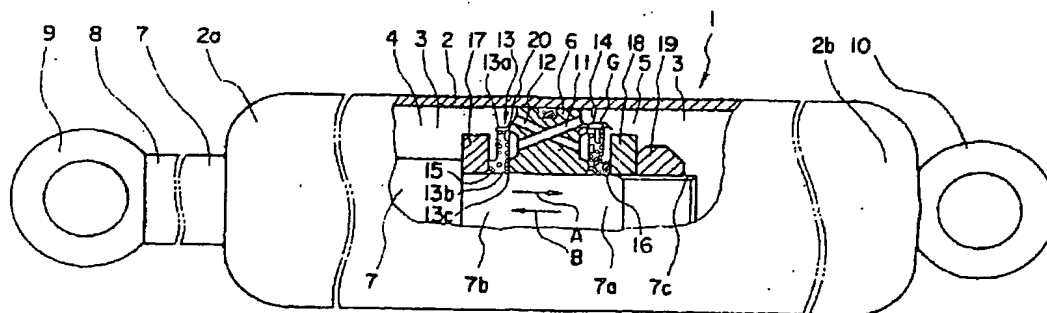
第一のディスクが開口部側に屈曲された際、第

二のディスクの切り欠き部から開口部に至るオリフィスが開かれるように構成してなる油圧緩衝器。
図面の簡単な説明

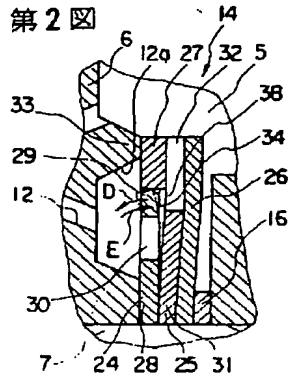
第1図は本考案による好ましい一具体例の油圧緩衝器の説明図、第2図乃至第4図は縮み側の減衰力特性を改善すべく構成されたディスクバルブの説明図、第5図は第1図乃至第4図の緩衝器の減衰力特性を説明するためのグラフ、第6図及び第7図は変形例の油圧緩衝器の説明図である。

2……シリンダ、3、4、5……油室、6……ピストン、7……ピストンロッド、7a……一端、11、12……連通孔、13、14……ディスクバルブ、12a、46……開口部、24、25、26、40……ディスク、35a、35b、35c、35d……切り欠き部、D、E……屈曲方向。

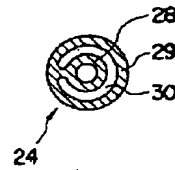
第1図



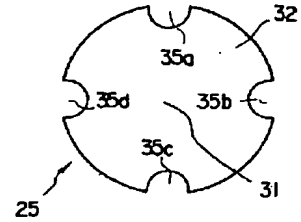
第2図



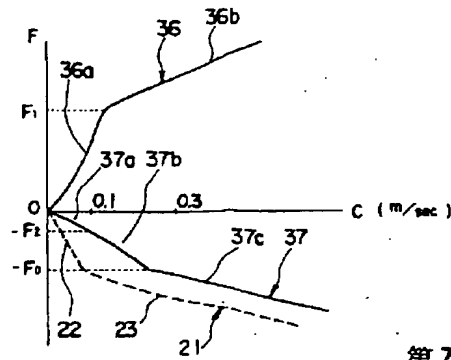
第3図



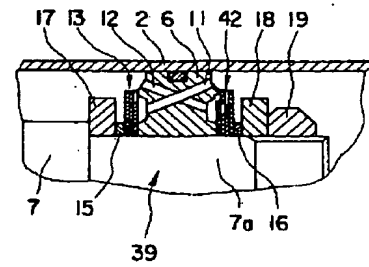
第4図



第5図



第6図



第7図

